



2025年7月23日

各 位

株式会社クシム  
代表取締役 田原 弘貴  
(証券コード: 2345 東証スタンダード市場)  
(お問合せ先) 代表取締役 田原 弘貴  
電話03-6427-7380 (代表)

## 2025年10月期半期決算説明会における質疑応答について

当社は、2025年10月期半期決算説明会を2025年7月22日に開催いたしました。株主様および関係者様より事前に頂きましたご質問につきまして、説明会においてご回答いたしました内容をお知らせいたします。

### 記

#### 1. 説明会資料

当日の説明会資料につきましては、以下よりご参照願います。

<https://drive.google.com/file/d/1hhNbHaHFGQ2ThnPz--RRBqVtsdLVRpLK/view?usp=sharing>

#### 2. ご質問事項および弊社からのお答え

##### 【ご質問事項 ①】

・今後の事業展開について。Web3の現在の世界情勢、クシムがどのような展開を考えているか。

##### 【弊社回答】

現在、当社が進めております子会社譲渡の無効を前提にお答えいたします。

世界的な暗号資産市場の活況を背景に、暗号資産ETFの拡大および上場会社の財務戦略への暗号資産の組み込み等が進展しております。特に上場会社の財務戦略との連携によ

り、株価急騰等が話題に上っておりますが、一部企業の時価総額は保有する暗号資産総額の数倍の水準で推移するという現象も現れており、多少、バブルのような一面がございます。

しかし、当社は、現状は一過性のものではなく、上場会社を中心とした企業の財務戦略、経営戦略の転換期であると認識しております。今後は、企業の資産運用の選択肢の一つとして、暗号資産が組み込まれ、企業の安定的な成長の一助に資するものになると認識しております。

当社は、従前より、暗号資産の保有を進めております。しかし、当社の企業価値は単に暗号資産を保有するに留まりません。暗号資産取引所Zaifを基軸に、当社が培ってきた人材、ノウハウを活用し、既存の法定通貨や経済活動の枠組みの外にある暗号資産の、開発、運用及び保管に関する多種多様なサービス提供を目指して参ります。

#### 【ご質問事項 ②】

・短期的（数カ月～1年の間）に売上を見込める案件はあるか。その規模に対する田原氏の所感も併せて教えてください。

#### 【弊社回答】

売上については、毎月確実に増加しております。既存の取引実績をベースに新たな顧客獲得、市場開発に取り組んでまいります。

#### 【ご質問事項 ③】

・訴訟の戦い方は開示不要だが、勝訴した場合にどのような理由から子会社が元に戻るか説明してほしい。

#### 【弊社回答】

2025年2月3日に実行された子会社譲渡は、重要な会社資産の譲渡にも関わらず、当社株主総会の決議を経ておりません。当社は、潜脱行為による譲渡そのものが無効であると認識しております。

2025年4月1日、東京地方裁判所は、旧経営陣の解任及び仮取締役兼仮代表取締役等の選任を決定しております。当決定は、当社の上記認識に立脚した申立てによるものであり、当社の主張は法律的にも認められる可能性は極めて高いと考えております。

子会社譲渡を起点に、その関連する全ての取引は絶対無効であると訴えてまいります。その他については、訴訟戦略上の必要から、詳細なご説明は差し控えていただきます。

【ご質問事項④】

- ・ 上場維持基準に適合するための具体的な計画を教えてください。

【弊社回答】

上場維持が至上命題であると捉えており、ガバナンス体制の構築を進めております。特に、関連監督官庁とは真摯に連携しており、各種提出資料の作成、経理機能、内部監査機能の整備を重点的に進めております。

3. お問い合わせ先

株式会社クシム IR担当

Mail : [contact@kushim.co.jp](mailto:contact@kushim.co.jp)

以上